

## 第2回豊川市立地適正化計画専門部会

### 【議事要旨】

日時：令和2年8月4日（火）午前11時～

場所：豊川市役所 本34会議室（本庁舎3階）

出席者：以下のとおり（敬称略）

区分	氏名	所属	分野
学識経験者	浅野純一郎	豊橋技術科学大学 建築・都市システム学系 教授	都市計画
	松本幸正	名城大学 理工学部 社会基盤デザイン学科 教授	交通工学
各種団体	長谷川完一郎	豊川商工会議所専務理事	商工業
	権田展健	豊川市農業委員会会長	農業
	河合美恵子	豊川防災ボランティアコーディネーター の会代表	防災
	伊奈克美	特定非営利活動法人とよかわ子育てネット理事	児童福祉
	大高博嗣	豊川市障害者（児）団体連絡協議会会長	障害者福祉
	美馬ゆきえ	豊川市老人クラブ連合会会長	高齢者福祉
公募	田中大造	市民	
	竹内みゆき	市民	
オブザーバー	齊藤保則	愛知県都市整備局都市基盤部都市計画課長 (代理出席：課長補佐 菅沼克文)	県職員
	渡會竜二	愛知県東三河建設事務所企画調整監	県職員

### 1 あいさつ

### 2 議事

- (1) 法改正、手引きの改正に伴う整理
- (2) 誘導区域設定の考え方について
- (3) 誘導施策について
- (4) 誘導施設について
- (5) 計画の推進方法及び目標値の設定について

## 議事（１）～（５）について

意見・質疑等の要旨	
意見 1	（委員） 基本的に今までのチェックをして、大きな変更は必要なく、法改正に伴う修正をするということで、改定の方角としては良い。一方で、届出制度などを運用しているが、実用上の問題点はないか。
	事務局 実用上の問題としては、まだ、知られていない部分があることが課題と認識している。誘導区域外の届出は、開発許可、建築許可の際に「届出が必要であること」を案内できるが、新たな制度である誘導区域内の休廃止の届出については、どのように周知していくかが課題となる。医師会・歯科医師会・社会福祉協議会などを通じて、誘導施設の運営者の方々に制度周知に取り組んでいるところである。
意見 2	（委員） 誘導区域外の届出の数が膨大になって、事務処理が煩雑になって支障をきたしているようなことはないか。
	事務局 これまでは、事務処理に困るほど届出件数が多くなったことはない。
意見 3	（部会長） 浸水想定をどう考えるかは、昨今の豪雨災害を考えるとセンシティブな問題だと思う。今回、根拠資料を示してもらい、結果として居住誘導区域から除外するのは「2m以上」とすることはそれで良いが、浸水想定区域の図面においては、2m未満の浸水想定区域については、できるだけ細分化して表示してもらおう方が、市民の方が判断しやすい。
意見 4	（部会長） 「目標値の設定」において、令和 22 年度（2040 年）に人口密度の目標値を達成するには、居住誘導区域内人口の人口割合（市全域人口に占める割合）を 80.8%とする必要があったが、実際に居住誘導区域内の <sup>すうせい</sup> 趨勢人口も下がっていくので、かなりギャップがあり、現実的には厳しいというところを認識して、そのあたりも記載してほしい。

### 3 その他

- ・ 第 3 回豊川市立地適正化計画専門部会  
9 月 2 8 日（月曜日）午前 1 0 時

### 4 委員会の閉会